

阿蘇火山における地球化学的観測（-2004年10月）*

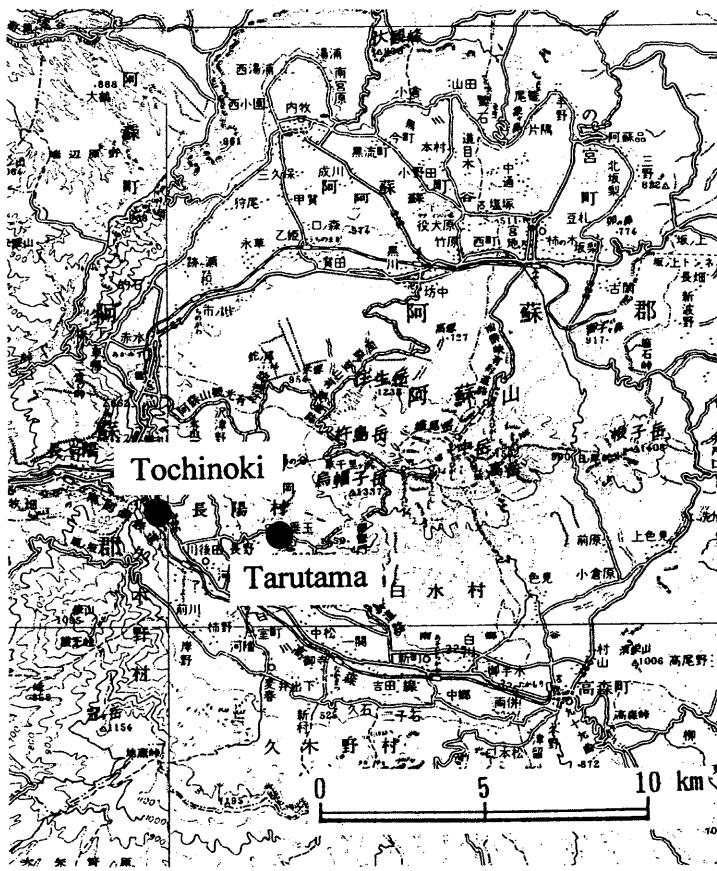
Geochemical observation at Aso Volcano (- October 2004)

九州大学大学院理学研究院 地震火山観測研究センター
Institute of Seismology and Volcanology, Faculty of Sciences, Kyushu University

阿蘇火山では2003年夏より火山活動が活発化している。2003年7月10日に大規模な土砂噴出があり、8月中旬には火山性微動も観測された。また、2004年1月にも規模の大きな土砂噴出が発生した。その後も、やや活発な火山活動が続いている。

九州大学地震火山観測研究センターでは、柄ノ木温泉と垂玉温泉（第1図）における温泉観測を行ったので報告する。

第2図と第3図に柄ノ木温泉と垂玉温泉の2003年9月以降の観測結果を示す。両温泉の溶存二酸化炭素相対濃度（二酸化炭素濃度／蒸発残留物濃度）には、漸増傾向が続き、現在もやや高いレベルを維持している。

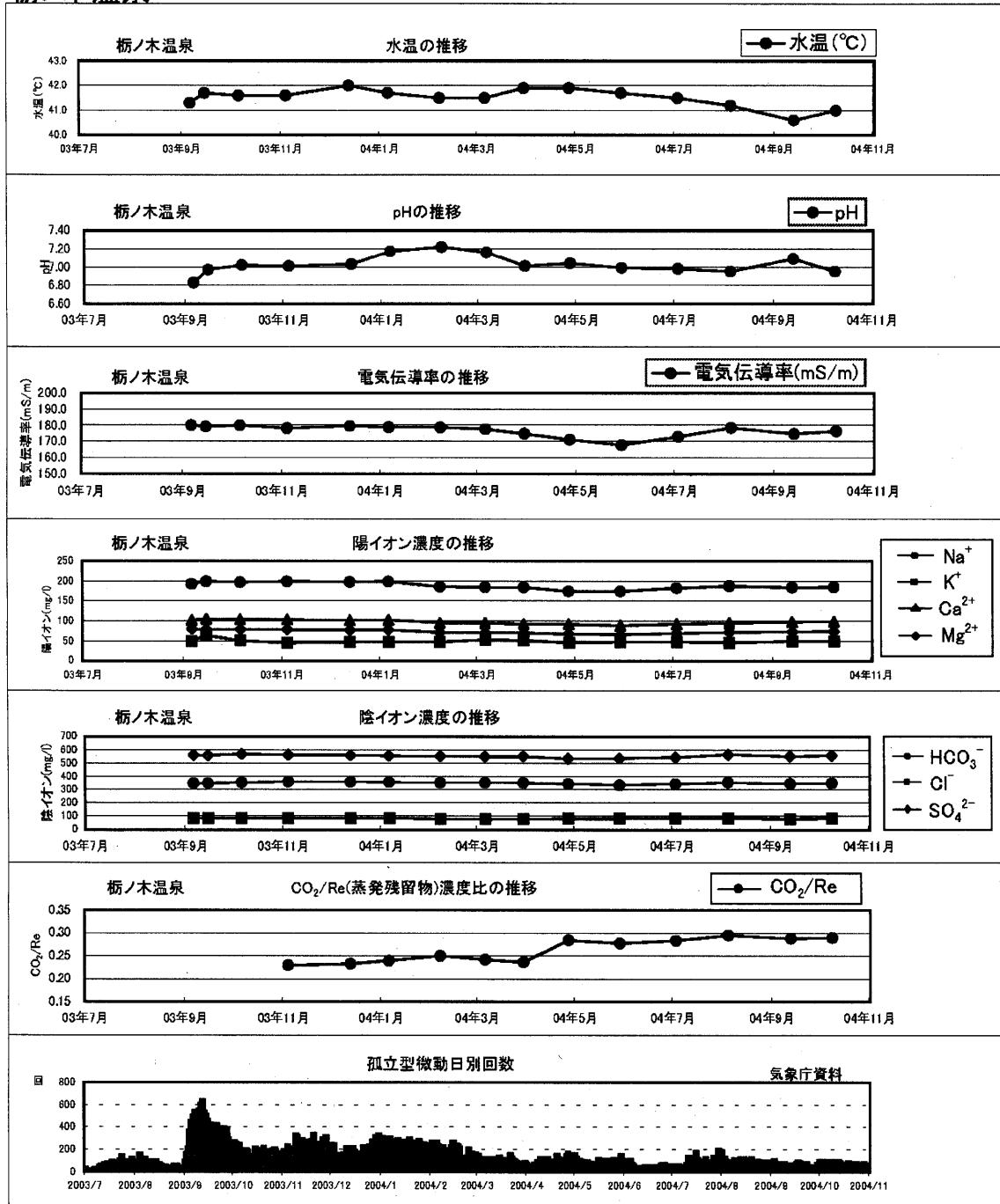


第1図 阿蘇山における観測源泉位置（柄ノ木温泉および垂玉温泉）

Fig. 1 Location of the observation sources at Aso Volcano (Tochinoki hot-spring and Tarutama hot-spring).

* Received 31 January, 2005

柄ノ木温泉

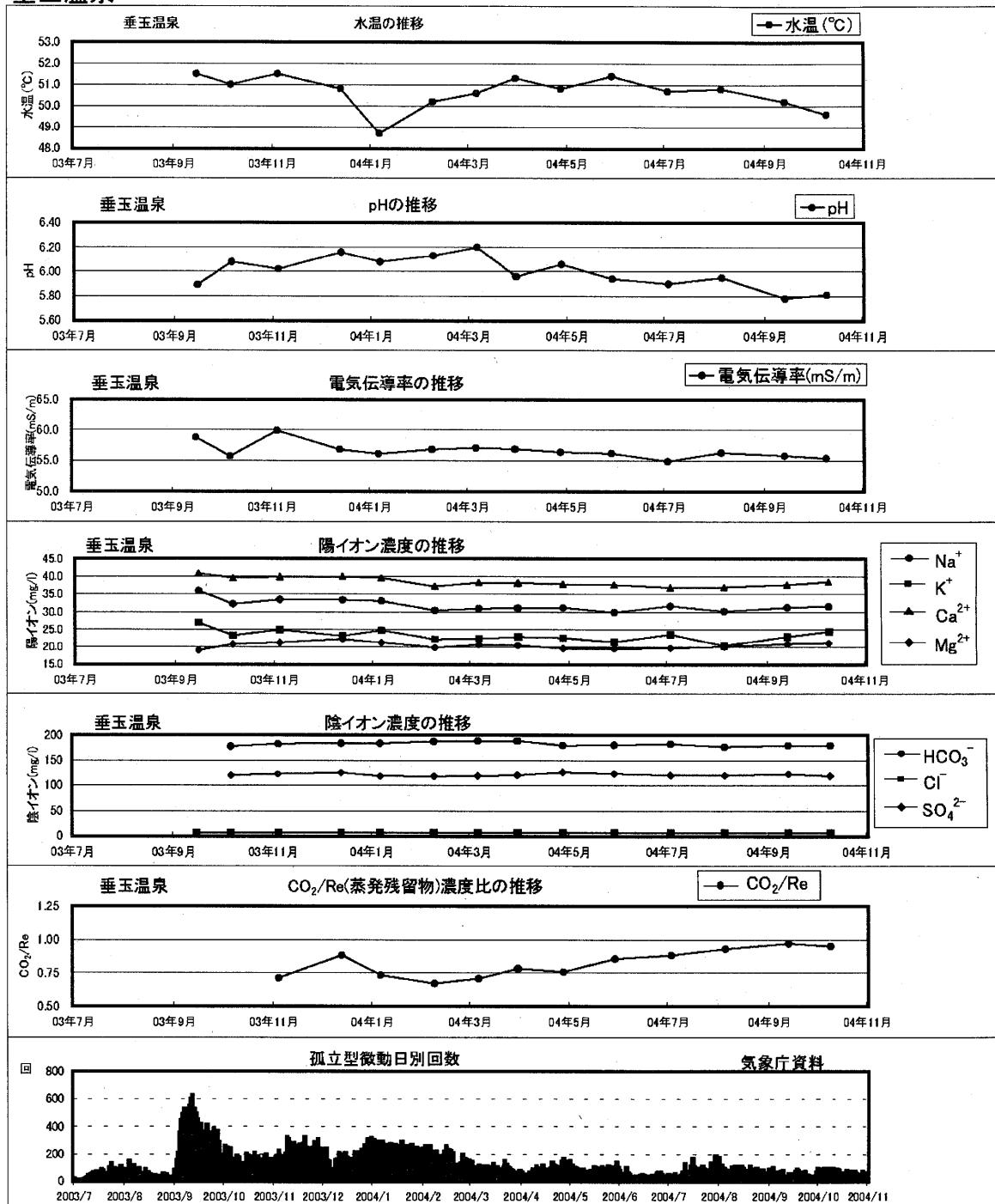


第2図 柄ノ木温泉小山旅館（平湯）の水温・pH・電気伝導率・主要化学成分濃度・CO₂/Re（蒸発残留物）濃度比の推移。

孤立型微動日別回数は気象庁資料。

Fig. 2 Changes in temperature, pH, electrical conductivity, main chemical component concentration and CO₂/Re (evaporation residue) concentration ratio at Oyama Japanese Inn (Hirayu) of the Tochinoki hot-spring. Daily number of the isolated tremor is from the Japan Meteorological Agency.

垂玉温泉



第3図 垂玉温泉山口旅館（本湯）の水温・pH・電気伝導率・主要化学成分濃度・CO₂/Re（蒸発残留物）濃度比の推移。
孤立型微動日別回数は気象庁資料。

Fig. 3 Changes in temperature, pH, electrical conductivity, main chemical component concentration and CO₂/Re (evaporation residue) concentration ratio at Yamaguchi Japanese Inn (Motoyu) of the Tarutama hot-spring. Daily number of the isolated tremor is from the Japan Meteorological Agency.